

教育長室

令和5年第3回港区議会定例会の質問について
(教育長答弁)

代表質問

うかい 雅彦議員 (自民党議員団)

- 1 公立学校のプールについて 【教育指導担当】
- 2 子どもたちが夢を持ってスポーツに打ち込める環境の整備について
【生涯学習スポーツ振興課】
- 3 箱根ニコニコ高原学園の積極的活用について 【学務課】
- 4 公立学校の給食費の支援について 【学務課】
- 5 区立中学生の海外修学旅行について
(1) 海外修学旅行の検討経過と経費について 【教育指導担当】
(2) 様々な観点からの国際理解教育の推進について 【教育長室】

石渡 ゆきこ議員 (みなと未来会議)

- 1 子どもたちの人権意識を高めるための取組について 【教育指導担当】
- 2 当事者の意見の採用について 【教育指導担当】

池田 たけし議員 (公明党議員団)

- 1 「COCOLOプラン」を受けての不登校支援の推進について
(1) 不登校児童・生徒の保護者への支援について 【教育指導担当】
(2) 不登校児童・生徒への支援について 【教育指導担当】

清家 あい議員 (みなと政策会議)

- 1 幼稚園について
(1) 区立幼稚園のお弁当配達支援について 【学務課】
(2) 保育園等給食費の負担軽減との公平性について 【学務課】
- 2 シンガポール修学旅行の考え方について 【教育指導担当】
- 3 特別支援教育について
(1) 学習支援員について 【教育指導担当】
(2) 特別支援教室の港区独自の取組について 【教育指導担当】
- 4 不登校児童・生徒の支援について 【教育指導担当】
- 5 神宮外苑再開発における名勝指定について 【図書文化財課】

一般質問

土屋 準議員（自民党議員団）

- 1 保育士体験について 【教育指導担当】

三田 あきら議員（自民党議員団）

- 1 学校における日本版DBS制度の運用開始前の対策について【教育人事企画課】

さいき 陽平議員（みなと未来会議）

- 1 修学旅行先をシンガポールとすることについて
- (1) 予算額の妥当性について 【学務課】
 - (2) 国をシンガポールに選定したことについて 【教育指導担当】
 - (3) 修学旅行の自己負担について 【学務課】
 - (4) 私立学校などに通う区内在住の子どもたちに向けた支援について
【教育長室・教育指導担当】
 - (5) 国際教育の強化のためのプログラムの内容について 【教育指導担当】
 - (6) 区民の声をより反映した事業全体の在り方について 【教育指導担当】
- 2 区立学校の魅力化について
- (1) 国際教育の拡充について 【教育指導担当】
 - (2) 区立学校の魅力化のための独自財源確保策について 【学務課】

なかね 大議員（公明党議員団）

- 1 運動施設の確保について 【生涯学習スポーツ振興課】
- 2 給食費の保護者負担軽減策について
- (1) 来年度以降の継続実施について 【学務課】
 - (2) 都立特別支援学校への拡充について 【学務課】

新藤 加菜議員（港区維新）

- 1 区立幼稚園・小中学校における転退出届の様式変更について 【学務課】

風見 利男議員（共産党議員団）

- 1 学校給食等の負担軽減について
- (1) 来年度以降も区立小・中学校の給食費の保護者負担軽減策を続けることについて 【学務課】
 - (2) 特別支援学校に通学する児童・生徒に給食費相当額を支給することについて 【学務課】
 - (3) 私立小・中学校に通う児童・生徒の保護者に、区立小・中学校給食費相当額を支給することについて 【教育長室】

(4) 区立幼稚園、私立幼稚園に通う区内在住の園児の保護者に対し、昼食に必要な費用を支援することについて 【学務課・教育長室】

2 いちょう並木の名勝指定を東京都などの関係機関に働きかけることについて

【図書文化財課】

令和5年第3回港区議会定例会の質問について

代表質問

議員名(会派名)	うかい 雅彦議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	1 公立学校のプールについて 【教育指導担当】
質問要旨	今年の猛暑で公立学校の屋外プールが中止になったと聞いて残念に思っています。来年の夏に向けて教育委員会としての対応はいかがでしょうか。
答弁内容	現在、各学校は、屋外プールでの熱中症対策としてテントの設営や指導時間の短縮、こまめな水分補給など安全に配慮した指導を行っております。 教育委員会では、今年度のように猛暑が続き、計画通り水泳指導を行うことが難しい場合、各学校に対し、授業の水泳指導期間を延長して、子どもたちが十分に水泳に取り組むことができるよう指導しております。 引き続き、教育委員会は、プールの設置場所にかかわらず、どの学校においても児童・生徒の泳力の向上を担保できるように指導してまいります。
質問項目【担当課】	2 子どもたちが夢を持ってスポーツに打ち込める環境の整備について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	子どもたちが夢を持ってスポーツに打ち込める環境の整備に、教育委員会と区長部局が連携して取り組んで頂くことをお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。
答弁内容	教育委員会では、子どもを含め、区民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の整備に努めております。 既存のスポーツ施設の再整備や新たな施設の整備に際しては、十分な運動スペースの確保はもとより、様々な運動種目への対応、駐車スペースの確保など、利用者のニーズを踏まえ、施設の機能を最大限確保していくほか、設備の更新等においても、機能拡充や利便性向上の可能性を検討するなど、スポーツ施設の一層の充実に向け、区長部局との連携をより強化し、取り組んでまいります。
質問項目【担当課】	3 箱根ニコニコ高原学園の積極的活用について 【学務課】
質問要旨	子どもたちのスポーツ活動について、港区では練習場所の確保が大きな課題となっています。箱根ニコニコ高原学園の公立学校活用以外の時期に泊りがけでスポーツ活動ができるよう、グラウンドのフェンスを高くするなどの支援をお願いしたいかがでしょうか。
答弁内容	教育委員会は、子どもたちが伸び伸びと身体を動かすことができ、スポーツ活動に取り組むことができる場を確保するため、スポーツの学校施設開放の整備・拡充に取り組んでおります。 箱根ニコニコ高原学園では、令和7年度から、施設の老朽化に伴う大規模改修工事を予定しており、現在、改修に向けて準備を進めております。 グラウンドのフェンスを高くすることについては、今後、基本設計・実施設計を行う中で、近隣の配慮にも考慮し、検討してまいります。
質問項目【担当課】	4 公立学校の給食費の支援について 【学務課】
質問要旨	区は今年から本年度末まで公立学校の給食費を無償化することに踏み切りましたが、予想に反して国が無償化に動かないと分かりました。一度始めた取組を本年度で止めてしまうのか、教育長の考えを伺います。
答弁内容	区は、現下の物価高騰への対応が必要なこと、また、国が、学校給食費無償化に向けて具体的方策を検討していくとした動向も踏まえ、本年9月から来年3月まで区立小・中学校給食費を徴収せず、保護者負担をゼロにしました。 合わせて、特別区教育長会や全国市長会等を通じ、国に対し、学校給食費無償化の実現を要望してまいりました。 物価高騰が続く中、来年度以降の給食費不徴収の継続について、検討してまいります。

質問項目 【担当課】	5 区立中学生の海外修学旅行について (1)海外修学旅行の検討経過と経費について 【教育指導担当】
質問要旨	来年度からの区立中学生の修学旅行については、テレビでも取り上げられ話題となっています。これまでどのような検討が行われてきたのでしょうか。また、5億円を超える債務負担補正となっていますが、単純に760人で割ると一人当たり68万円となり非常に高いと感じます。今後は経費の削減も必要と考えますが、いかがでしょうか。
答弁内容	<p>教育委員会は、国際社会で活躍する人材の育成を推進しております。</p> <p>区独自に取り組んできた、小学校の「国際科」や中学校の「英語科国際」の授業、小・中学生のオーストラリアへの海外派遣事業などの取組は、英語による実践的コミュニケーション能力の育成や、日本や外国の文化について学ぶ機会となっております。</p> <p>海外派遣事業は、応募者多数の中、限られた児童・生徒の派遣ということもあり、一昨年度より、より多くの生徒が海外での貴重な体験に参加する機会を検討する中で海外修学旅行の案が出てきました。</p> <p>昨年度は、引き続き、事務局内で、目的の実現性、費用、治安面などの観点で複数の候補地から行先等の検討してまいりました。</p> <p>本年5月に新型コロナウイルス感染症が5類となり、海外での修学旅行の実施の目途がたったことから、より具体的な検討を進め、中学校長からの意見も聞き、来年度からの実施方針をお示したものです。</p> <p>私は、先月、オーストラリアで行われた中学生の海外派遣事業に同行いたしました。なかなか通じない英語にもどかしさを感じながらも一生懸命ゼスチャーも交え通じたときの喜び、失敗を恐れずチャレンジを続ける勇気、日本での当たり前が海外では違っていた驚き、様々な体験を通し、日々成長していく子ども達を目の当たりにすることができました。</p> <p>未来を担う、そして私たちが未来を託す、子ども達が海外でこれまで学んできた英語でのコミュニケーションを実践し、直接異文化に触れることを通して、自分の将来や生き方を考え、夢や希望を持ち国際社会で活躍する人に育ってほしいと考えております。</p> <p>経費について、様々な御意見をいただいております。</p> <p>今後予定しているプロポーザルでの事業候補者選定の中で、充実したプログラム、安全安心な行程を前提としつつ、学校ごとの研修プログラムの費用や交通費など各項目の精査、そして縮減に努めて、皆様の納得が得られるよう取り組んでまいります。</p>
質問項目 【担当課】	(2)様々な観点からの国際理解教育の推進について 【教育長室】
質問要旨	<p>コロナ禍の4年間、修学旅行どころではなく、様々な行事が取り止めになっています。この間の在学生の気持ちを考えると、海外への修学旅行を行うにあたっては何らかのフォローは考えられないものかと考えます。</p> <p>ぜひ、様々な観点から国際理解教育を進めて頂きたいと考えますがいかがでしょうか。</p>
答弁内容	<p>教育委員会では、全ての区立中学校でオンラインを活用した放課後英会話教室の実施や、近隣大使館の方を招いて各国の生活様式や伝統文化について学ぶなど、グローバル化のさらなる進展に伴い、国際社会で活躍できる人材を育成するため、国際理解教育を積極的に推進しております。</p> <p>コロナ禍の影響で中学生としての様々な体験の機会が失われてしまった生徒も含め、港区で暮らす子どもたちに、国際人育成の視点から、どのような支援ができるのか、ご指摘も踏まえ積極的に検討してまいります。</p>

議員名(会派名)	石渡 ゆきこ議員(みなと未来会議)
質問項目【担当課】	1 子どもたちの人権意識を高めていくための取組について 【教育指導担当】
質問要旨	港区ではどのように、社会の、子どもたちの人権意識を高めていくことに取り組んでいるのか、学校現場での取組について現状を伺います。
答弁内容	教育委員会では、同和問題やハンセン病への理解等、あらゆる偏見や差別が起こらぬよう、教員に対して、年3回の人権教育研修を実施し、教員の指導力を高めております。 各学校では、人権教育の指導計画を作成し、全ての学年において、計画的に子どもたちの人権意識を醸成しております。具体的には、東京都人権プラザを訪問し、当事者の思いを知る学習を行うなど、人権課題への理解を深める取組を推進しております。 引き続き、教育委員会では、様々な教員研修において人権尊重教育推進校の優れた実践を共有する機会を設定し、各学校の取組に生かすなど、教育活動の充実を図ることで、あらゆる偏見や差別が起こらぬよう、子どもたちの人権意識を高めてまいります。
質問項目【担当課】	2 当事者の意見の採用について 【教育指導担当】
質問要旨	港区として、今後の具体策を展開していく際に、その政策決定過程に当事者である保護者や生徒たちがいなければならないと思うのですが、教育長のお考えはいかがでしょうか。
答弁内容	昨年、教育委員会は港区学校教育推進計画の改定に向け、区立学校に通う全ての小学校5年生と中学校2年生、及び一部の保護者を対象にアンケート調査を行いました。 児童・生徒への質問の一例を申し上げますと、「今後の学校生活で、感染症が拡大する前と同じように行ってほしい行事は何か」や「学校に対しての意見」など、多岐にわたって学校教育への意見を求めています。 また、これまで教員と保護者を対象に行っていた学校評価に、今年度からは児童・生徒も参加するほか、一部の小・中学校で、学校運営協議会に実際に児童・生徒の代表が参加して、考えを述べる機会を設けております。今後も、保護者や児童・生徒の意見を学校教育に反映する場の創出に努めてまいります。

議員名(会派名)	池田 たけし議員(公明党議員団)
質問項目【担当課】	1 「COCOLOプラン」を受けての不登校支援の推進について (1)不登校児童・生徒の保護者への支援について 【教育指導担当】
質問要旨	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門性の高い人材を活用した不登校児童・生徒の保護者への支援を、今後どのように充実させていくのでしょうか。教育長にお伺いします。
答弁内容	教育委員会では、不登校児童・生徒の保護者支援を充実させるため、学校と、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの連携強化に努めております。 一例を申し上げますと、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーのより緊密な情報共有による支援により、不登校傾向が改善した好事例をもとに、連携の深め方について、保護者との窓口になっている副校長や保健主任を対象とした研修を実施いたしました。 今後は、「COCOLOプラン」にも示されている保護者の心に寄り添った支援を一層充実させるため、各学校に配置する専門性の高い人材の配置時間や日数の拡充についても、検討を進めてまいります。
質問項目【担当課】	(2)不登校児童・生徒への支援について 【教育指導担当】
質問要旨	不登校児童・生徒の支援のために取り組んでいる「校内別室」の設置や、1人1台のタブレットを活用することについての教育委員会の取組状況や今後の展望について、教育長にお伺いします。
答弁内容	今年度、区立小学校1校、中学校2校をモデル校として実施している「校内別室」では、不登校児童・生徒が自己存在感や充実感を高められるよう、一人ひとりの状況に合わせたプログラムに沿って支援を行っております。 また、各学校ではタブレット端末のビデオ通話機能を使用した面談やオンライン授業を実施するなど、不登校児童・生徒の心に寄り添った支援に取り組んでおります。 校内別室については、今後モデル校の成果を検証し実施校を拡充するとともに、特別な教育課程を編成して教育を行う「不登校特例校」の新設についても、検討してまいります。

議員名(会派名)	清家 あい議員(みなと政策会議)
質問項目【担当課】	1 幼稚園について (1)区立幼稚園のお弁当配達支援について 【学務課】
質問要旨	区立幼稚園では、以前の学童クラブと同様、園ごとにPTAが仕出し弁当の事業者と契約する形がとられていますが、PTA連合会からは、学童クラブで導入したような区立幼稚園のお弁当配達支援事業の導入を早急に求める声が上がっています。 区立幼稚園に対しても、要望に応えるべきと考えますが、教育長の見解をお伺いします。
答弁内容	現在、PTAが主体となって、一部区立幼稚園で実施をしている配達弁当については、毎日のお弁当作りの負担軽減や栄養バランスの観点から、保護者の好評を得ていると報告を受けております。 こうした状況を踏まえ、区が契約主体となることも含め、配達弁当実施園の拡大について検討してまいります。
質問項目【担当課】	(2)保育園等給食費の負担軽減との公平性について 【学務課】
質問要旨	無償化についても、公平性の観点から、どのように考えるかお伺いします。
答弁内容	教育委員会では「区立幼稚園のあり方検討会」を設置し、様々な視点から区立幼稚園の魅力や利便性の向上策を検討しております。 現在のところ、区立幼稚園において、一律に昼食に必要な費用に対する負担軽減を行うことは予定しておりませんが、引き続き、園児の保護者への支援の在り方については、今後の課題として検討してまいります。
質問項目【担当課】	2 シンガポール修学旅行の考え方について 【教育指導担当】
質問要旨	港区として、「国際人育成」をどのようなものとして考え、この事業がどのようにつながると考えているのかお伺いします。 また、「区立中学の魅力向上」について、区立への進学率が低い理由をどのように考え、この事業がどのような効果があると考えているかお伺いします。
答弁内容	教育委員会は、国際社会で活躍することができる人材を育成しています。国際社会においては、英語による語学力だけではなく、コミュニケーション能力や異文化に対する理解が必要となってきます。 来年度実施を予定している海外修学旅行のプログラムでは、すべての生徒に、これまで学んできた英語力を試す場や異文化に直接触れることで、事前・事後の学習を行い、海外に視野を広げ、自国や他国の文化や伝統を重んじる真の国際人として、自己の将来や進路を見据える契機になるものと考えております。 昨年度教育委員会が実施した、学校教育推進計画改定に向けたアンケート調査では、進学する中学校を選択するにあたり、公私立を問わず、学力向上策、受験対策、国際理解教育などの充実が判断材料となるということが分かりました。 来年度予定している海外修学旅行を含めた、国際理解教育の充実を図ることは、区立中学校の魅力を一層充実させるものと考えております。
質問項目【担当課】	3 特別支援教育について (1)学習支援員について 【教育指導担当】
質問要旨	令和2年度から5年度の4年間で、小学校・中学校ともに「学習支援員」を配置する対象人数が増えています。学習支援員の人数はほとんど変わっていません。保護者からは支援員の補充を訴える声や、支援員の研修制度の拡充を求める声が上がっています。 今後、児童・生徒の特別な支援をどのように行っていくのかお伺いします。
答弁内容	現在、各学校では通常の学級に在籍する発達に特性のある児童・生徒に対して、学習支援員が教員と連携し、個に応じた支援をしております。 学習支援員による支援の必要な児童・生徒が年々増加している中、教育委員会では、支援時間を確保することはもとより、支援のための教員の資質向上にも力を入れております。 一例として、特別支援教育担当者会において、教員と学習支援員が個別の支援計画を用いて、共通の視点で支援に取り組んだ好事例を周知しております。 こうした教員と学習支援員の連携による個に応じた支援を行ってきたことで、対象の児童・生徒が、自分で考えた内容をスムーズに書き表すことができるようになるなど、支援の効果が表れた事例が増加しております。 引き続き、教育委員会では、一人ひとりのニーズに応じた支援の充実に取り組んでまいります。

質問項目 【担当課】	(2)特別支援教室の港区独自の取組について 【教育指導担当】
質問要旨	東京都教育委員会の制度である「特別支援教室」の利用についても、卒業まで継続的に使える制度にはなっていません。制度として不足する部分は、港区として、独自に継続的な支援を進めていく必要があると考えますが、見解をお伺いします。
答弁内容	特別支援教室では、東京都が定めたガイドラインに従い、原則として1年間の指導で、児童・生徒一人ひとりの障害に応じた目標を達成するようにしております。 その上で、区では、この指導期間で目標を達成することが難しい児童・生徒に対し、東京都の制度を踏まえつつ、個に応じた柔軟な対応をしております。 具体的には、引き続き特別支援教室での指導が必要な児童・生徒には、原則の指導期間後も、個々の状態に応じた新たな目標を設定し、指導を受けられるようにしております。 また、児童・生徒の支援を充実させるため、区独自の区費講師を3名配置し、児童・生徒の特性に合わせた指導を行っております。 今後も、特別支援教室を利用する児童・生徒が、個の能力を最大限に伸ばしながら成長できるよう、各学校の指導の充実に向けた支援を強化してまいります。
質問項目 【担当課】	4 不登校児童・生徒の支援について 【教育指導担当】
質問要旨	オンライン学習の整備や居場所の支援など、不登校児に対する支援は急務だと思いますが、どのような対策を考えているか、教育長の見解をお伺いします。
答弁内容	現在、各学校では、学習者用タブレット端末のビデオ通話機能を使用した面談や学習指導を実施するなど、希望する児童・生徒にはオンラインを用いて、心に寄り添った支援に取り組んでおります。 また、「適応指導教室つばさ」はもとより、フリースクール等に通っている児童・生徒に対し、登校や活動の状況を報告書などで確認し、可能な限り児童・生徒一人ひとりに応じた支援方針を協議し、対応を進めております。 今後は、不登校児童・生徒の個々の状況を踏まえ、より適切な学習を進められるよう「不登校特例校」の新設について検討してまいります。
質問項目 【担当課】	5 神宮外苑再開発における名勝指定について 【図書文化財課】
質問要旨	港区では、4列のいちよう並木の名勝指定について、明治神宮など関係者の意向確認を行ってくださっています。現在、すでにいちよう並木が枯れ始めていることは明らかで、事業者の環境影響調査で報告された、全て活力度Aという状態にはないと思います。 早急に名勝指定を行い、法的な景観の保存に動くべきだと考えますが、見解をお伺いします。
答弁内容	教育委員会は、本年6月に所有者である明治神宮を訪問し、これまで、約100年にわたり、いちよう並木を適切に維持管理してきたこと、今後、周辺で再開発が行われる中であっても、着実に守り続けることを確認しております。 名勝指定については、今後も、協議を継続していくことの同意を得ていることから、周辺区とも意見交換をしながら、引き続き所有者と協議してまいります。

一般質問

議員名(会派名)	土屋 準議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	1 保育士体験について 【教育指導担当】
質問要旨	自分の成長過程を実感し、親になる体験をするため、中学生等による保育士体験や赤ちゃんふれあい体験等を進めるべきと考えますが、教育長の考えを伺います。
答弁内容	現在、各中学校では、2年生が事業所などで3日間程度働く体験をする職場体験学習を行っております。 保育園での体験は、コロナ禍で中止となっておりますが、今年度、多くの保育園で生徒の受け入れを再開したことから、職場体験学習の担当者会で保育園や幼稚園での生徒の取組例を紹介しております。 保育園で体験学習をした生徒は、実際に保育士の仕事を体験し、幼児と触れ合い、幼児の成長に関わることで、自他を大切に思う心情を育てております。 より多くの生徒が保育士体験を通じて自分の成長過程を実感することができるよう、中学校が幼稚園・保育園と連携し、体験機会の創出に努めてまいります。

議員名(会派名)	三田 あきら議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	1 学校における日本版DBS制度の運用開始前の対策について 【教育人事企画課】
質問要旨	港区において、区立小学校に勤務する教諭が、強制わいせつ容疑で逮捕される事案があり、大きな衝撃を受けたことは記憶に新しいところです。 子ども家庭庁が導入を検討している、一定の施設で働く際に性犯罪歴についての証明を求める日本版DBSは、子どもの安全と保護者の安心を確保していく手段としては効果的な方法であり、推進していくべき制度であると考えます。 一方で制度が構築・運用されるまでは、今しばらく時間がかかるため、その間いかなる方法でこの類の事件の再発を防止していくのか、教育長の見解を伺います。
答弁内容	児童・生徒に性暴力等を行い免許状が失効した教育職員のデータベースの運用が、本年4月1日から文部科学省により開始をされております。現在、正規教員を採用する際には東京都が、講師を任用する際には区が、それぞれデータベースを活用しております。さらに、区では任用関係書類の確認や面接を通して、講師としての適格性を厳格に審査しております。 現在勤務をしている教員・講師に対しては、服務事故根絶を目的として、年間を通じて研修を実施しており、本年7月には「児童生徒性暴力等の防止」を重点テーマとした研修を区内の全小・中学校で実施をし、全員が受講しました。 引き続き、任用プロセスの強化、研修の充実により教員・講師の倫理観、規範意識を高め、再発防止に努めてまいります。

議員名(会派名)	さいき 陽平議員(みなと未来会議)
質問項目【担当課】	1 修学旅行先をシンガポールとすることについて (1) 予算額の妥当性について 【学務課】
質問要旨	1人あたりの費用の内訳について、通常の旅行と違う部分などがどこであって、差額としては何が発生する想定なのかなど、予算の妥当性について教育長の見解を伺います。
答弁内容	来年度、実施を予定している海外修学旅行の経費は、6月から9月のハイシーズンを見込んだ交通費や宿泊費、研修旅行としての学生の受け入れ経験が豊富なガイド、現地の大学生等と交流しながらのグループ行動などの費用をプログラムの代金として計上しております。 これらの経費は、生徒の安全・安心を担保しつつ、子ども達がこれまで学んできた英語でのコミュニケーションを海外で実践し、直接異文化に触れることができるよう積み上げたものです。 今後予定しているプロポーザルでの事業候補者選定の中で、充実したプログラム、安全・安心な行程を前提としつつ、一つひとつの項目の費用について精査し、縮減に努めてまいります。

質問項目【担当課】	(2)国をシンガポールに選定したことについて 【教育指導担当】
質問要旨	なぜ、具体的な見積りをもらう前の予算請求の段階で国を指定したのでしょうか。国を指定せず、プロポーザルで様々な国の選択肢の中から提案をもらうことは難しかったのでしょうか。教育長の見解をお聞かせください。
答弁内容	<p>教育委員会では、海外修学旅行の目的の実現性、移動時間、安全面などの観点で複数の候補地について検討を重ね、行先をシンガポールといたしました。</p> <p>目的の実現性として、英語が公用語の一つであり、現地学生との交流等の活動が行いやすく、現地の方と対話する経験を通して、コミュニケーションの重要性を実感することができることです。</p> <p>また、他の英語圏に比べ、移動時間や時差が比較的短く、生徒の体力的な負担も少ないものと考えております。</p> <p>安全面では、現地の医療体制や事故発生時の緊急対応の体制が整備されており、治安が安定しております。</p> <p>シンガポールは、日本の学校の研修旅行の受け入れ実績も多く、生徒の充実した学びの環境として相応しい国と考えております。</p> <p>修学旅行の実施後は、学校、参加した生徒、保護者の意見も聞き、取組の成果を検証し、プログラム内容の充実とともに、学校の希望によって実施可能な行先等についても検討をまいります。</p>
質問項目【担当課】	(3)修学旅行の自己負担について 【学務課】
質問要旨	公の支援なくては就学が厳しい家庭も多くおられ、また、そのラインには届かなくとも教育費用の負担を強く感じている家庭も多くあります。自己負担額のケアを、国際教育の充実以前に行うべきではないかという指摘について、教育長としてどのようにお考えでしょうか。
答弁内容	<p>教育委員会では、経済的な理由で就学が困難な家庭に対し、就学援助制度により、修学旅行宿泊費や交通費などの実費及び支度金を支給し、就学援助受給家庭の経済的な負担を軽減しております。</p> <p>就学援助制度では、生活保護を受けている方に準じる程度経済的に困窮している、いわゆる準要保護者の認定基準についても、平成25年8月の生活保護基準引下げ以降も、引下げ前の基準を継続して適用するなど、経済的に困難な家庭を広く支援しております。</p> <p>海外修学旅行においても、これまでと同様の負担軽減を行う予定です。</p>
質問項目【担当課】	(4)私立学校などに通う区内在住の子どもたちに向けた支援について 【教育長室・教育指導担当】
質問要旨	<p>私立に通わせている保護者からは不公平感と不満の声をいただいております。</p> <p>例えば、現在区立学校に通う学生のみが対象となっている「小中学生海外派遣事業」を拡充すれば、私立に通う学生たちからの不公平感をなくすことができたくもありません。</p> <p>今後、私立学校に通う区民の子どもたちに向けて何らかの支援を行っていく考えがあるかについてお聞かせください。</p>
答弁内容	<p>教育委員会は、国の制度を独自に拡充した港区奨学金制度のほか、私立学校と意見交換をする中で、自分なりに問いを立て、情報を集めて分析して、まとめて発表する探究型学習発表会や、学校単位のダンスコンテストであるMINATORリズムダンスフェスタなど、区立・私立の児童・生徒がお互いを高め合い、交流することを狙いとした事業を実施し、子どもたちの学びを応援しております。</p> <p>小中学生海外派遣事業の対象に私立学校の児童・生徒を加えることは予定しておりませんが、今後、国際人の育成の観点からどのような支援ができるか、私立学校の意見も聞きながら検討してまいります。</p>
質問項目【担当課】	(5)国際教育の強化のためのプログラムの内容について 【教育指導担当】
質問要旨	海外修学旅行としてのプログラムで、生徒たちにどのような力を身に付けさせたいと考えているのでしょうか。現時点での具体的なプログラムの内容について教えてください。
答弁内容	<p>現地での研修プログラムは、各学校で生徒が、事前に現地ですごしたい内容を主体的に選択できるようにいたします。</p> <p>具体的には、現地学生と少人数のグループで市内観光地や自然体験施設を巡る活動、現地企業と連携したキャリア教育や現地校での授業体験など、生徒たちの興味・関心を高めるプログラムを予定しております。</p> <p>教育委員会は、学校とも連携し、事前・事後学習、現地でのプログラムを通して、英語を用いて体験的に異文化を理解する目的が達成できるよう取り組んでまいります。</p> <p>中学3年生の多感な時期に、海外での英語によるコミュニケーションを実践し、異文化の中に身を置くことで、多くの学びや可能性を見だし、将来、国際人としてたくましく成長してもらいたいと考えております。</p>

質問項目 【担当課】	(6)区民の声をより反映した事業全体の在り方について 【教育指導担当】
質問要旨	現時点での事業の在り方について、区民から様々な声が上がっています。今後、より区民の声を反映し、事業を改善していく余地があるかどうかについて、教育長の考えをお聞かせください。
答弁内容	海外修学旅行のプログラム案については、オーストラリアへの海外派遣事業の成果や、中学校長の意見を踏まえて検討を進めてまいりました。 海外修学旅行の実施に向けた事前学習では、生徒や保護者の意見を取り入れながら、英語科国際の授業で現地についての学習を行うなど、生徒の学びがより深まるよう各中学校で取り組む予定です。 実施後は、学校と連携し、プログラムを体験した生徒とその保護者からの意見も踏まえて事業の効果を検証するとともに、次年度に参加する生徒やPTA、学校運営協議会からも広く意見を伺い、海外修学旅行がより充実したものとなるよう取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	2 区立学校の魅力化について (1)国際教育の拡充について 【教育指導担当】
質問要旨	海外修学旅行事業と相乗効果を持つ国際教育の拡充施策について、オンライン英会話の活用などは進められないでしょうか。また、港区所在のインターナショナルスクールとの交流事業や、大使館との連携した教育プログラムを今こそより進化させて取り組むべきではないでしょうか。教育長の考えを聞かせてください。
答弁内容	教育委員会では、国際理解教育を区独自の重点的な施策として掲げ、海外派遣事業や小学校の「国際科」、中学校の「英語科国際」の授業、オンラインを活用した放課後英会話教室などを実施しております。 また、各学校では、港区の地域特性を生かし、近隣の大使館への訪問や、学校に大使館の方を招き、各国の生活様式や伝統文化について学ぶ機会を設けるなど、児童・生徒が、海外や日本の文化を理解する教育活動を行っております。 昨年度、教育委員会が実施した学校教育推進計画改定に向けたアンケートの結果で、保護者が、学力向上策、受験対策、国際理解教育の充実を中学校選択の判断材料としていることが分かりました。 今後も、教育委員会は、全ての学校で、大使館との交流の機会を検討するなど、児童・生徒が、異文化を直接体験する機会を重視した教育を展開し、更なる国際理解教育の充実を図ることで、区立中学校の魅力の向上を図ってまいります。
質問項目 【担当課】	(2)区立学校の魅力化のための独自財源確保策について 【学務課】
質問要旨	ふるさと納税の仕組みを活用して、教育委員会の下に設立したガバメントクラウドファンディングを創設するなどして、区立学校が独自財源に基づいた機動的な教育活動を展開できるようにする考えはあるか、教育長の考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、平成30年度から各学校独自の発想による新たな事業を提案する学校提案制度を実施するとともに、今年度からは児童・生徒が主体的に学校や地域の魅力を発信し諸課題を解決するマイスクールPRコンペティションを実施しております。学校や児童・生徒が主体となって取り組む先進性や特色のある教育活動を推進し、区立学校の魅力向上に取り組んでおります。 また、港区版ふるさと納税制度では、寄付者が望む活用先に子育て・教育分野をあげ、区への寄付をお願いしております。 現在、ガバメントクラウドファンディングを活用した財源確保は予定しておりませんが、引き続き、教育委員会は学校と連携し区立学校の魅力の向上に取り組んでまいります。

議員名(会派名)	なかね 大議員(公明党議員団)
質問項目【担当課】	1 運動施設の確保について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	運動施設の確保の必要性が益々高まる中、こうした区民の満足度を高めるためにもこれまで以上に企業への働きかけや他区、大学等との連携の強化を図り、環境整備に取り組むべきと考えますが、今後の取組について見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、北青山三丁目市街地再開発事業において、新たなスポーツ施設の整備に取り組むほか、学校施設開放事業では、本年12月の使用から開放時間枠を細分化するなど、より多くの方にご利用いただけるよう、運用を見直しました。 本年8月には、区内企業であるJX(じえいえっくす)金属株式会社と連携協力協定を締結し、企業が保有する屋内運動施設の活用について、具体的な検討を進めております。 引き続き、企業・大学との連携や、区外の運動施設の活用検討など、様々な手法を用いて、運動施設の確保、充実に努めてまいります。
質問項目【担当課】	2 給食費の保護者負担軽減策について (1)来年度以降の継続実施について 【学務課】
質問要旨	給食費の保護者負担軽減策について、来年度以降の継続実施について伺います。
答弁内容	区は、現下の物価高騰への対応及び国の学校給食費無償化に向けた動向を踏まえ、本年9月から来年3月まで学校給食費を徴収せず、保護者負担をゼロとしております。 また、国に対し、特別区教育長会や全国市長会等を通じて、学校給食費無償化の実現を要望してまいりました。 物価高騰が続く中、来年度以降の給食費不徴収の継続について、検討してまいります。
質問項目【担当課】	(2)都立特別支援学校への拡充について 【学務課】
質問要旨	給食費の保護者負担軽減の対象を都立特別支援学校の児童生徒に拡充すべきと考えますが、見解をお伺いします。
答弁内容	区立小・中学校の給食費の負担軽減策は、現下の物価高騰の状況や国の動向を踏まえ、学校設置者として学校給食費を不徴収としているものです。 都立特別支援学校の児童・生徒に対しては、東京都教育委員会が実施する就学奨励事業において、世帯の所得に応じて、一部から全額、学校給食費が支給されております。 現時点で都立特別支援学校の児童・生徒への保護者負担軽減策の拡充は予定しておりませんが、支援の在り方については、今後の課題としてまいります。

議員名(会派名)	新藤 加菜議員(港区維新)
質問項目【担当課】	1 区立幼稚園・小中学校における転退出届の様式変更について 【学務課】
質問要旨	転出届の保護者記入欄を2つにし、親権を持つ父母両方の署名を求める仕様にする事で子どもの連れ去りを防止する効果があると考えられています。 この様式変更はすぐにでもできる策であり、ぜひ港区でも導入していただきたいと考えますが、考えを教えてください。
答弁内容	区立幼稚園・小中学校では、普段から保護者との円滑な関係を築くことで、子どもや家庭の状況把握に努めております。転退出届が提出され、学校がその理由等を聞き取る中で連れ去りの可能性が考えられる場合には、園や学校、子ども家庭支援センター等関係機関と連携して情報の共有を行っております。 転退出届の保護者記入欄に、父母双方の記名を求めることについては、他自治体の実施事例や効果を調査研究してまいります。

議員名(会派名)	風見 利男議員(共産党議員団)
質問項目【担当課】	1 学校給食等の負担軽減について (1)来年度以降も区立小・中学校の給食費の保護者負担軽減策を続けることについて 【学務課】
質問要旨	子育て世帯への支援策として、来年度以降も、区立小・中学校の給食費の無償化を続けること。
答弁内容	区は、本年9月から来年3月まで学校給食費の保護者負担をゼロとするとともに、国に対し、学校給食費無償化の実現を要望しております。 物価高騰が続く中、来年度以降の給食費不徴収の継続について、検討してまいります。
質問項目【担当課】	(2)特別支援学校に通学する児童・生徒に給食費相当額を支給することについて 【学務課】
質問要旨	特別支援学校に通学する児童・生徒に、給食費相当額を支給すること。
答弁内容	区立小・中学校の給食費は、物価高騰の状況や国の動向も踏まえ、学校設置者として学校給食費を不徴収としているものです。 都立特別支援学校の児童・生徒に対しては、東京都教育委員会が実施する就学奨励事業において、世帯の所得に応じて、一部から全額、学校給食費が支給されています。 都立特別支援学校の児童・生徒に給食費相当額を支給することは予定しておりませんが、支援の在り方について、今後の課題としてまいります。
質問項目【担当課】	(3)私立小・中学校に通う児童・生徒の保護者に、区立小・中学校給食費相当額を支給することについて 【教育長室】
質問要旨	私立小学校・中学校に在籍する港区在住の児童・生徒の保護者に、区立小・中学校の給食費相当額を支給すること。
答弁内容	今年度から、経済的理由により就学が困難な私立小・中学校の児童・生徒の保護者に対して、給食費の支援を含めた就学援助を行っております。 現時点で一律での給食費相当額の支給は予定しておりませんが、私立小・中学校の児童・生徒の保護者への支援の在り方については今後の課題としてまいります。
質問項目【担当課】	(4)区立幼稚園、私立幼稚園に通う区内在住の園児の保護者に対し、昼食に必要な費用を支援することについて 【学務課・教育長室】
質問要旨	区立幼稚園、私立幼稚園に通う区内在住の園児の保護者に対し、昼食に必要な費用を支援すること。
答弁内容	区立幼稚園では全園で給食を実施しておらず、区内にある私立幼稚園は14園中6園が給食を実施している状況です。 現時点で、公私立幼稚園において、一律に昼食に必要な費用に対する負担軽減を行うことは予定しておりませんが、園児の保護者への支援の在り方については、今後の課題としてまいります。
質問項目【担当課】	2 いちょう並木の名勝指定を東京都などの関係機関に働きかけることについて 【図書文化財課】
質問要旨	現在、一番左側のいちょうの何本かが枯れてしまうのではと心配されています。いちょう並木ギリギリに野球場が建設されれば、多大な影響が心配されますし、側に超高層ビルが建つことで日陰被害が心配されます。 名勝指定できるように、東京都など関係機関に働きかけること。
答弁内容	教育委員会は、本年6月に所有者である明治神宮を訪問し、これまで、約100年にわたり、いちょう並木を適切に維持管理してきたこと、今後、周辺で再開発が行われる中であっても、着実に守り続けることを確認するとともに、名勝指定についての協議を継続していくことの同意を得ております。 東京都や、いちょう並木の一部がまたがる新宿区とは、名勝指定に関する意見交換を行っていることから、東京都などに改めて働きかけることは予定しておりませんが、引き続き、関係機関と連携してまいります。